

交通事故を減らすために

湊小学校 K. K

社会では、交通事故がたくさん起きています。私は、交通事故を減らすためには、みんながルールを守っていくことが大切だと思います。

先日、学校の目の前の道路で小学生がはねられる事故がありました。小学校から、少し離れたところにある信号を使わずに、道路を渡ってしまったからです。この事故を知り、私は自分の町にもたくさんの危険な場所があると思いました。

自分の町の危険を減らすために私は二つの事をしたいです。

一つ目は、在校生のお手本となるように行動することです。6年生がしっかりと交通ルールを守ること、低学年もそれを見て真似をしてくれます。逆に、6年生が交通ルールを破ってしまうと、自分たちは大丈夫でも、真似をした低学年は事故にあってしまうかもしれません。例えば、6年生が横断歩道を使わずに道路を渡ると、低学年がそれを見て真似をしてしまって、車にはねられる可能性があります。そんなことがあったら、みんなが後悔すると思います。交通ルールを当たり前のように守れるように、日常から頑張っていきたいです。

二つ目は、交通ルールを在校生に教える事です。集団登校の時に、交通ルールが分からない様子の子がいたら、教えてあげたいです。実際に、ヒヤリとするようなことがありました。低学年が信号待ちの時にとても前に出ている、「危ないな」と感じたことがありました。その時は、見守り隊の方が、「危ないよ、もうちょっと後ろに下がって。」と注意してくれました。だけど、もし見守り隊の方がいなかったら、危険だと思います。このとき、見守り隊の方は自分が1年生のころからずっと見守ってくださっていたのだと気づきました。感謝の気持ちでいっぱいになりました。次からは、自分も待っている時に前に出すぎないことや、横断歩道を渡る時、右左を見ることを教えてあげたいです。

6年生がしっかりと交通ルールを守ることが、下級生の命を守ることに繋がると考えます。交通事故が限りなくゼロに近づくように、日ごろから交通ルールを守れるように意識していきたいです。